

山梨県小菅村コースの募集について

コースタイトル：「7 日間の地域おこし協力隊で山村の持続可能性に向き合う」

1. コースの概要

多摩川源流に位置する人口 600 人の小菅村は、子ども達の環境教育や都会の大学との連携による交流人口の創出、山村留学の推進とともに、道の駅と村営温泉を一体化した観光拠点づくり、ゲストハウス、クラフトビール、古民家ホテルなど、様々な取り組みによって持続可能な山村を模索してきました。人間環境学部とは、2011 年の東日本大震災の年から始まったフィールドスタディ、さらにそれを発展させたキャリアチャレンジを通して関係性を築き、これまで多くの学生が小菅村を訪れ、単位取得後、さらに卒業後もリピーターとして交流人口（1/2 村民）になっています。

このコースでは、小菅村と NPO 法人多摩源流こすげの協力を得て、源流域で生活しながら山村振興に関する取り組みに参加することで、地域おこし協力隊の仕事を体感します。さらに、地域おこし協力隊のこれからを展望するための検証作業にも関わります。

なお、法政大学が立地する東京都心とは別世界ともいえる 7 日間の山村生活を通して、これからの人生におけるローカルキャリアを考える機会にすることも、このコースのもう 1 つの目的です。

2. 受け入れ団体：山梨県小菅村、NPO 法人多摩源流こすげ

3. 現地研修

8/22（木）～8/28（水）6 泊 7 日

以下が予定している研修内容です（今後、変更の可能性もあります）。

- 1) 小菅村に関する座学講義と村内ツアー
- 2) 小学生の源流体験事業サポート
- 3) 源流の農業研修
- 4) 地域おこし協力隊の課題検証のための関係者のヒアリングと報告
- 5) 集落の神楽練習への参加等の村内の生活体験

4. 費用

①生活費（2 万円程度）

※宿泊施設は小菅村で用意します。食事は村民からの差し入れもありますが、基本的に自

炊になります。

②現地までの交通費

5. 募集人員

5～6名（6名が上限、2年生以上）

※研修に誠実に取り組み、かつ学部を代表する自覚をもって行動し、地域の方々にも礼節をもって接することをもとめます。

6. 事前講義・事後講義

①事前講義（事前学習と研修スケジュール・注意事項の確認等）

7月に1～2回

②事後講義（報告会）

9～10月に1回

7. 募集手続

①募集期間：6/6（木）～6/19（水）

②応募方法

1) 学部ホームページから志望調査票をダウンロードしてください。

2) Hoppiiの佐原コースのクラスに仮登録してください。

3) Hoppiiの「課題」に必要事項を記入した志望調査票を提出してください。

8. 選考

①選考方法

志望調査票とオンライン面接（予定）により選考します。

②メンバーの発表

6/28（金）を予定しています。

9. インターシップ保険・誓約書等

①インターンシップ保険

参加者には、キャリアセンターのインターシップ保険（無料）に加入してもらいます。

②誓約書等

参加者には、誓約書や個人情報の提供承諾書等を提出してもらいます。

10. 問い合わせ先

担当教員の小島（skojima@hosei.ac.jp）までメールでお願いします。